

伊万里港の地域的参考情報

1 伊万里港の気象・海象の特性

・年間を通じてほとんど風の影響もなく穏やかである。春季の午前、かすみ
が時々かかることがあるが、濃霧はまれである。

2 台風に関する勧告基準

| 区分 | 基準 | 実施事項 |
|------------------|--|--|
| 注意喚起 | 1 台風等の動静に注意を要する場合。 2 発達した低気圧等に関する気象情報が発令された場合。 | 1 台風、低気圧等の動静に注意し、必要に応じて荒天準備を行う。 2 危険海域を避けて航行する。若しくは港内で待機する。 |
| 第一警戒態勢 (準備勧告) | 1 台風が伊万里港に接近し、強風域に入る概ね24時間前。 ただし、台風の強さ、進路、予報円等を考慮する。 2 発令時期が夜間、土日、休日等にかかる場合は、適宜考慮する。 | 1 在港船舶は、荒天準備を行い、必要に応じて直ちに運航できるよう準備する。 2 台風等来襲時には、他の泊地等へ避難しようとする船舶は、その準備をする。 3 小型船舶等は、船だまり等の安全な場所に避難する。 4 岸壁、棧橋、工事作業現場においては、風浪により流出の恐れがある物件の固縛、陸揚げ、移動等の流出防止措置をとる。 5 船舶による危険物及び貨物の荷役は、状況に応じて早めに中止する。 |
| 第二警戒態勢 (避難勧告) | 1 台風が伊万里港に接近し、暴風警戒域に入る概ね6時間前。 2 発令時期が夜間、土日、休日等にかかる場合は、適宜考慮する。 | 1 在港船舶は、荒天準備を完了し、厳重な警戒態勢をとる。 2 小型船舶等は、船だまり等の安全な場所に避難し、荒天準備を完了する。 3 岸壁、棧橋、工事作業現場等は、流出防止措置を完了し、厳重な警戒態勢をとる。 4 船舶による危険物及び貨物の荷役を中止し、避難措置を完了する。 |
| 解除 | 伊万里港が台風の影響圏外となったとき。 (原則として、港内の風速が15m/s以下となったとき。) | 警戒態勢等を解除する。 |

3 付近海域の特徴

- ・名村造船所2号岸壁・4号岸壁の前面は、投錨禁止区域に指定されている。
- ・大型船の錨地は港内中央部の水深10～17mのところが多い。
- ・検疫錨地は白岩鼻の南南西方0.6M付近に指定されている。

緊急連絡先 伊万里海上保安署 TEL: 0955-28-3388

各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。